

祐善寺だより

第47号

発行日

2021年10月10日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生20-2 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170

7・29 未曾有の豪雨に襲われる 「記録的短時間大雨情報」が4回発表

去る7月29日早朝、越前町から福井

市、鯖江市等へかけての一带で、かつて経験したことのない豪雨に襲われました。気象庁によると、「福井県越前町では午前8時20分までの1時間に83ミリの雨量を観測。記録的短時間大雨情報」と発表。福井地方気象台と県は、「福井市、坂井市、鯖江市、越前市、越前町に土砂災害警戒情報」を発表しました。

各地で土砂崩れや住宅、作業場等の床上・床下浸水、道路や農地の冠水や崩落。福井市（旧・清水地区）では、堤防が決壊し河川の氾濫で住宅に取り残されたお年寄り等を消防隊員のボートで避難救助するという事態まで発生しました。

ご門徒様におかれましても、床上・床下浸水、土砂崩れ、自動車や農業機械の冠水による全損、農地や山林等の崩落等の被害が発生しております。

当寺は、裏庭法面の一部が崩落した程度で、大きな災害には至りませんでした。住宅側の裏山から幅10メートルほどの川になって大量の雨水が音を

立てて流れ落ちてくるのを目にしたときは、恐怖で鳥肌が立ちました。その状態は、約1時間近くは続いたでしょう。私にとつては、生まれて初めての惨状でした。

当日、NHKも民放もテレビの全国ニュースで「福井県越前町上糸生で1時間に83ミリ」と字幕入りで報道していました。

毎年、いや、数ヶ月おきに繰り返される自然災害。これまで経験したことのない甚大な自然災害が、全国各地で頻発するようになってきました。

以前は、「備えあれば憂いなし」とかの標語もありましたが、近年襲ってくる自然災害は、そんな標語が通用しないレベルと言つて過言ではないでしょう。

いづつどこを襲つかもわからない自然災害に心しておく必要がありますが、何より災害に襲われないよう、願つばかりです。

7・29 記録的豪雨災害に被災された皆様に、衷心よりお見舞い申し上げます



寺から出た県道は冠水し、谷から流出した岩石が山のよう



住宅裏山から川になって豪雨が流れ落ちる



庫裡裏庭の法面が一部崩落する



投稿ページ

西田中 上野 みよ子

コロナ禍の今、東京五輪・パラリンピック閉会。選手の皆さんがメダル金銀獲得の輝かしいシーンに、深く感動したものです。

「越山若水」の「コマ」できないをできるに変える「パラアスリート」

夏の甲子園野球、敦賀気比高校の2回戦勝利、次いで丹生高校の男子ホッケー部、全国大会優勝、明るいニュースも続きました。各学校の二期も始まり、元氣な学童の姿にホッとしています。

コロナ終息は見通せませんが、せ

◆報恩講昔川柳

小倉 野村 明良

食材を 背負うて山道 祐善寺

(昔は野菜を背負って、近道で山の中を祐善寺まで届けました。今では、車でアッコ(子)聞いてね。)

境内は 場売り 縄とび かくれんぼ

(境内は露店もならび、子供の遊園地でした。今は、子供の姿なし。)

お泊まりは 枕並べて 雑魚寝かな

(昔は寺に泊まって二日がかりだった。今は、やっ(一)日)

めて私たちにできることを守りましょう。手指消毒、マスク着用、予防に先ず協力。
秋も深まり日増しに寒さも加わります。

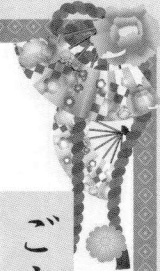
同朋の皆様のご健康をお祈り致します。

残された人生

小倉 渡邊 千代一

「人生八十年」と若い頃、言われ、今七十二歳になります。十八歳で電撃傷で死の一步手前に。盲腸、骨折、腸捻転等で入院しました。そして六十一歳で大腸癌、六十二歳で胃癌と二年続けて大手術を日赤病院で体験しました。その時、主治医から、「仕事を辞め、何も考えず好きな事だけをしてストレスを溜めないことが大事ですよ」と言われた。

考えてみると、四十、五十歳代は仕事、先輩のことで超、悩み、ストレスの塊でした。上司に相談し、「辞めて、治療に専念したい」と頼み、三月までと言ったことで了解を得たが、翌日、本店の担当者から電話で、「辞めないで会社に勤務する七十歳までに完全に治しなさい」と言われて考え直し、仕事は楽なものに変えて頂き、また、好きなスポーツ、釣り、そして、子供の頃からの少しの畑で野菜作りをして、今日までストレスを溜めることなく働き、勤めて定年



ご案内 報恩講

十一月二日(火)

午後二時～

(三時十五分頃終了予定)

法話・南居

陽願寺住職

出雲路善公師

今年の当寺の報恩講は、下記のコロナ感染拡大防止対策を施して、昨年に準じて一座のみ勤修いたします。何かとご多用のこととは存じますが、ご家族、ご法友をお誘いあわせの上、何卒ご参詣下さいますよう、ご案内申し上げます。

合掌

報恩講における 感染拡大防止対策

- ① 本堂入口、庫裡玄関、トイレ入口に手指消毒スプレー、マスク、除菌ティッシュ等を用意する
 - ② 本堂参詣者イスの間隔を広くとる
 - ③ 本堂内の換気に配慮する
 - ④ 原則的にマスクを着用する
 - ⑤ トイレ等は、綿タオルを使用せずに、ペーパータオルを使用する
 - ⑥ 一座のみのお勤めでもあり、お斎は用意しない
 - ⑦ 法要の所要時間も、可能な限り短縮するよう工夫する
- 以上

になりました。
お蔭様で癌の兆候は今のところ、みられない。医師の言葉を信じて、「ストレスを溜めないで好きなこと」を守ってきたからだ、と自分は思っています。

現在、コロナで大変なときですが、皆様も屋内外で好きなことを見つけて、身体を動かして「ストレス」を溜めない、負担がないよう、残された人生を楽しく生きていこうではありませんか。



かげ
コスモスが仰ぎ見る空陰りなし

写真はコスモスの花です。「コスモス」という名はギリシア語で、「美しい」という意味らしい。私、ギリシア語は分からないしギリシアへ行ったこともないけれど、ギリシアにはコスモス以外に美しい花はないのでしょうかね。可哀想に……。いやそんな筈はあるまい。私が訪れた西洋五カ国の花はどれも、日本の花と同様に美しかったのだから…。

年越し元旦参りのご案内

皆様、今年は、豪雪に始まり、新型コロナウイルスに振り回され、7月には豪雨災害に遭遇した受難の年でした。

大晦日にお寺で除夜の鐘をつきつつ災いの多かったこの一年を振り返り、年明けとともに、すがすがしい気持ちでご本尊に、ご挨拶しましょう！

★仏事で使用した不用品等を、ご持参下さい！

★午後十一時過ぎから点火される「かがり火」で焼却しましょう！

◆持ち込まれるもの

葬儀等で使用した白木の位牌、古ろうそく、お経本、お祓いを

ということは、コスモスと命名した人がこの花にぞつこん惚れ込んでいたつことに違いなかつた。いやね、花に限らず何事も、ぞつこん惚れ込むことが大事なんだと思うの。たとえ世の旦那さん全てが、「イイ人と一緒になれたもんじゃ。勿体ないこつちや！」って思いながら暮らしていたなら、この世はもうちよい住みやすくなるはずだと思っただけだ……。それでね、手始めに

受けたお札、一年のカレンダー等々

左記の日程で、年越し元旦参りをお勤めします。ご家族お誘いあわせの上、ご参加下さい。



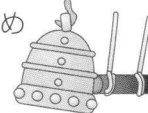
日程

◆12月31日

- 23:15 集合・かがり火準備
- 23:20 読経・かがり火点火
- 23:30 除夜の鐘撞き始め

◆新年元旦

- 00:00 正信偈お勤め
- 00:20 お勤め終了「一年の計」表明
- 00:30 解散



自分が試してみたいの。横目でチラッと見ながら、勿体ないこつちや！つて小さく呟いたが反応なし。聞こえなかつたのかも…。次は感謝を態度で示すべく、台所の洗い物をしたけれど反応なし。これも気付かなかつたのかな…？

只今、次なる作戦を練っているところでありませう。掃除機をかけてみようか、それとも裏庭の草取りをしようか…。

令和3年度護持費の志納よろしくお願ひします

祐善寺を永代に互つて護持していただくために、護持費をお願いしておりますが、今年も次のおりご志納下さいますようお願いいたします。

◆護持費の使途

- ・ 報恩講の厳修費や教化事業の実施
- ・ 本堂を守る火災保険や環境維持費用
- ・ 本山相続講、福井教区賦課金等
- ・ その他

◆年額

一戸 一〇、〇〇〇円(以上)

◆志納方法

- ・ 寺へ直接志納する
- ・ 秋まわりや法事で住職が貴家を訪問の際に志納する
- ・ 地区の役員さんに志納する
- ・ 郵便振替口座

(〇〇七七〇一九一三〇七二一)

・ 加入者⇨祐善寺)

⇨振り込む

◆志納期限

毎年十一月末日

炎天下、コロナ禍の中 草刈作業奉仕に汗!

鯖江市 桑 原文子

今年も草刈作業に参加することができて良かった。草刈り機は音もすごいが、威力も抜群だ。鎌で草を取るわたしの仕事量は限られている。が一部分だけでも綺麗になれば嬉しい。手は遅いがわたし流でがんばった。途中の休憩時間、涼しい風が心地良くて、「お寺さんは気持ちいいですねー。」と言葉を交わした交流がちよっとできた。

来年も健康で参加できますように。マスクを外しての会話ができるといいですね。

皆さん、お疲れ様でした。毎年、サザエの差し入れありがとうございます。格別の味でした。



お盆を前に猛暑の中での草刈り作業奉仕

眞宗大谷派福井教区 第四組報恩講



と き 十月二十日(土)

午後一時半

会 場 祐善寺本堂

法 話 牧野豊丸師

(福井市託願寺住職)

右の通り、福井教区第四組報恩講が、祐善寺を会場にして開催されるので、皆様、お誘いあわせの上、ご参詣下さいますよう、お願いいたします。

※福井教区第四組とは

福井市、鯖江市、越前町の一部の大谷派(お東)の寺院十七ヶ寺で構成されています。

第四組報恩講は、毎年十月三十日に会場を持ち回りでお勤めしています。



寺へ通ずる区道の 拡幅工事が完工!

5年前より5期にわたって工事が進められてきた区道の拡幅工事が、このほど完工しました。

寺へも通じる区道でありますので、毎日、車を利用する私どもにとつては、運転を誤って谷川に脱輪することもなくなり、安全で大変運転しやすくなりました。

ただ、これまで冬季の大雪の際に、雪捨て場として利用していた谷川がふさがれて不自由になったというデメリットもありますが、拡幅された区道を通行する際には、そのような事情も理解しておきたいものです。

一方、お寺に別の用事来られた建設会社の社長さんが、「あの川の工事がしてあってよかったですね。もし、工事がしてなかったら、あの豪雨(7月29日)が来たら、昔のままの谷川や区道だったら、スタスタにえぐれて大変なことになっていたと思う。」と、言われていました。

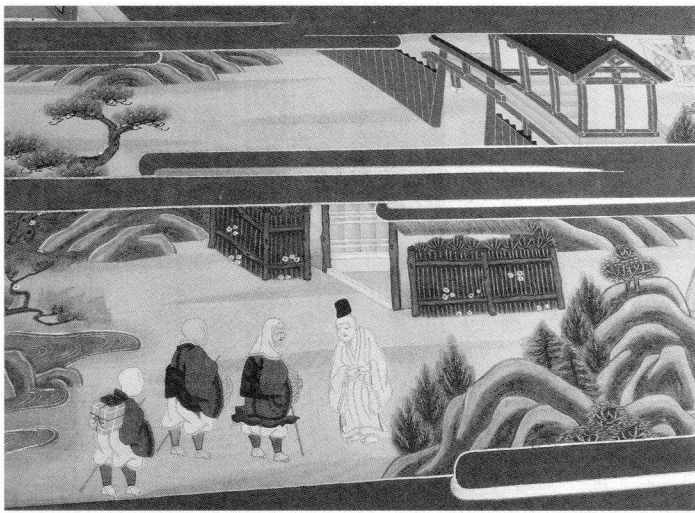
それでも、このたびの豪雨では、谷からの大量の雨水が大量の岩石を伴って大変な被害を発生させました。もし、昔のままだったら、社長さんが言われるように、更に甚大な被害をもたらしたのかも知れません。

令和三年度年忌表

かけがえのない
ご先祖様の年忌法要
をお勤め下さい!

本年度の年忌法要は、左記のとおりでございますので、貴家の過去帳等をご確認していただき、皆様のいのちのふるさとである御先祖様の年忌法要を是非、勤めて下さいますよう、ご案内いたします。

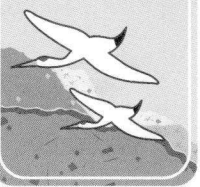
- 五十回忌 昭和四十七年没
- 三十三回忌 平成元年没
- 二十五回忌 平成九年没
- 十七回忌 平成十七年没
- 十三回忌 平成二十一年没
- 七回忌 平成二十七年没
- 三回忌 平成三十一年・令和元年没
- 一周忌 令和二年没



第十六回

親鸞聖人御絵伝

箱根霊告



親鸞聖人は、約二十年間過ごされた関東の国をあとにして、京都へお戻りの旅にでられました。天下の険と呼ばれる箱根山を夜通しかけて越えられ、夜明けが近くなった頃、聖人は、ようやく人家らしきものを見つけられて歩み寄ると、麗しい装束の老人が現れ、「箱根権現に仕える人たちと一緒に夜通し神楽等で遊ん

でいましたが、そのうち居眠りをしていた、夢うつつの中に、権現様が現れ、「私が尊敬する客人がこの道を通られるから、丁重なおもてなしをするように」とのお告げがあったと思う間もなく、お姿を現わしなされたあなたは、ただびとはありませんまい。」と、丁重なるおもてなしをされたのでした。

図の中央、白装束に烏帽子は箱根権現に出仕する神官、神官の前には、親鸞聖人、後に随伴の西念房、蓮位房、図の右側に、箱根の山並みが描かれています。

「親鸞聖人御絵伝」

浄土真宗の宗祖、親鸞聖人のご生涯を広く讃えんがために、親鸞の曾孫に当たる本願寺第三世覚如上人が親鸞聖人の求道の歩みを詞を著し、初稿本の絵は、親鸞聖人の直弟西仏房の孫、浄質法眼に描かれています。

詞の部分、「御伝鈔」、絵の部分「御絵伝」と呼び、各寺院の報恩講において御絵伝四幅を余間に奉掛し、厳肅に御伝鈔が拝読されます。

（参考文献）『親鸞聖人御絵伝』
『親鸞聖人御絵伝』

其の43

仏事 一口メモ

念珠(数珠)について

念珠は数珠ともいい、仏さまに合掌するときには必ずかけるものです。念珠を持たないでは「仏をば手づかみにこそせられたり。聖人(親鸞聖人は)、まったく、念珠をすてて仏をおがめとおおせられたることなし」と、蓮如上人という方はおっしゃっておられます。

そもそも法事とは、亡き人を偲ぶとともに、それを縁にして仏さまの教えを聞き、仏さまに合掌する場であります。そして、この合掌は、自ら三宝(仏法僧)に帰依する心持ちを表現したものであります。ですから、法事には念珠が欠かせないのです。

さて、合掌の仕方ですが、両手を合わせ、念珠を親指と人さし指の間にかけます。合わせた両手の手首がみぞおちのあたりにくるようにします。そして指と指の透き間をつくらず、指先



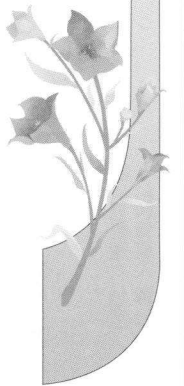
をまつすぐに伸ばします。合掌の姿を横から見ますと、手の線は、身体の線に対して、おおよそ四五度の角度になります。

次に、お参りするときの念珠のかけかたを説明します。一輪のときは、親玉を下にしてください。二輪で長房のときは、親指のところで二つの親玉をはさみ、房を左手側に下げます。なお、合掌しないときは、左手で持ちます。

以上ご説明しましたように、念珠は手にかけて合掌するためのものです。この他にも、他の宗旨では、数取りのためとか、鳴らしながら礼拝するためなどに用いるところもあるようですが、浄土真宗はそういう意味では使いません。

『仏事ひとくちメモ』東本願寺真宗会館所収

お知らせ



報恩講を前に

「全門徒一斉作業奉仕デイ」を実施します！

ご門徒の皆さんのご理解とご協力をお願いします！！

日 時 十月二十四日(日) 午前九時集合 (十一時半頃終了予定)

作業内容

本堂・庫裡Ⅱガラス拭き、拭き掃除等
境内・石段Ⅱ環境整備等
仏具磨きⅡ本堂内の全ての仏具磨き

持ち物

女性Ⅱガラス拭き布、雑巾(古手拭)等
男性Ⅱ軍手、スコップ等

申込み

大変、お手数ではございますが、ご協力頂けます方は十月二十二日(金)までに、祐善寺(〇七七八一三四一五一七〇)まで、お電話等頂けますと有り難いです。

寺族、門信徒さんの共有財産である祐善寺を、みんなの力で護ろう!!
ご協力よろしくお願ひいたします!!

ボランティア募集!!

雪囲い作業奉仕

日 時 十一月七日(日) 八時集合(午前中)

持 物 鎌(カッター)、軍手、合羽(悪天時)等

JAIイベント保険

加入します。

作業内容

本堂、庫裡等の雪囲い作業をお願いします。高所での作業が苦手な方は、下で雪囲いシートのヒモ結びや資材運び等の作業もありますので、ご都合のつく方は、是非ご協力をお願いします。

お願い

甚だお手数ながら、ご協力いただけます方は、保険に加入上、十一月四日(木)までに、地区担当役員、もしくは祐善寺へご連絡下さいますよう、お願いいたします。



越知山泰澄塾

『泰澄大師その足跡 六〇〇ヶ所』発刊

祐善寺は、西暦七二四年に泰澄大師によって開創されました。歴史的には一二九〇年余り経ちました。

越知山泰澄塾は、泰澄大師の業績・史蹟等を調査、研究を行っています。塾生が関東・甲信越から九州まで足を現地に運び、十年かけて資料を集められてきました。二〇〇九年に「越知山泰澄の道」と題しNo.1を発刊して以来、二年毎に資料集を発刊してきました。そして、このたび泰澄塾設立三〇周年を機に本書『泰澄大師その足跡六〇〇ヶ所』が発刊されました。

本書には、今までに集められてきた泰澄大師ゆかりのある史蹟が六〇〇ヶ所以上収録されています。当寺も収録されています。

購読ご希望の方は、祐善寺にご連絡頂けるか、左記の販売店にて購入頂けると幸いです。

- 織田文化歴史館
- 勝木書店 各店
- 山田書店 各店
- 廣比書店 各店

道の駅パークイン丹生ヶ丘

(岡崎優大)

編集後記

★早いものでお彼岸も近くなりました。を勤める時期も近くなりました。

★平常時の生活から程遠いコロナ禍の生活も約2年になろうとしています。

★2回のワクチン接種により感染者も徐々に減りつつありますが、変異株の発生により、まだまだ安心できる状態には無いと思います。

★政府は国民に不要不急の行動制限を強いながら、オリンピック・パラリンピックを開催し、ソーシャルディスタンスを押し付けながら、みずから反故にする。

子供たちの運動会、遠足、修学旅行等の延期、中止をさせておきながら、派閥争いの末の総裁選の茶番劇を見せつけられています。

すでに、皆さんは気付いています。この国は、国民の誠実さで成り立っている事を、是非とも次回選挙で、派閥の長老には退場していただきましょ。

★全門徒一斉作業奉仕デイに、ご協力ください。報恩講に御参詣下さい。

(松島 守)